

研究プレスリリース配信のお知らせ

6月15日 精細管内を流れる精子の分布ならびに精細管壁の動きを可視化
～精細管を精路として捉える新たな研究分野の開拓に期待～

(人体構造学分野の表原拓也講師、医学科第6学年の金澤優太さん、金沢大学 仲田浩規講師 (現：公立小松大学保健医療学部臨床工学科教授)、京都大学 平島剛志特定准教授 (現：シンガポール国立大学助教授) らの研究グループ))

(⇒ 学生ニュース 32ページに記事を掲載しております。)

詳細は、大学ホームページからご覧いただけます。

【プレスリリース】 <https://www.tokyo-med.ac.jp/news/pressrelease/>



こころのサプリ

風に吹かれて



画：医学総合研究所 片平泰弘 作

(春風)

ガタンゴトンと列車が線路を走る音、ゴゴーとうなる風の音、時折鳴り響く軽快な汽笛の音、近づいては遠ざかる踏切の音。

駅で手を振ってくれる駅員さん、そして沿線の家から、道から、畑から、列車に向かって手を振ってくれる町の方。見つけたら嬉しくなって、笑顔で手を振り返す。

窓のない展望車で、直に受ける風の爽快さ、肌を感じる太陽の暖かさ、視界に常に鎮座する青空、一面に広がる畑、山、民家、凜と咲く野の桜や菜の花、足がすくむような溪谷、一面緑の竹林や真っ暗なトンネル。

ただただ、トロッコ列車に揺られて、ただただシャッターチャンスを探して、お尻に響く振動を常に感じながら、あっという間の2時間。

途中の停車駅のホームで販売されていた梅ジュース、美味しかったなあ。

仕事で疲れていた体と心を、たくさんの景色と音と風が癒してくれた。

非日常へのトリップ。日常に疲れたら、房総里山トロッコ列車にまた乗りに行こう。

その日の夜、夫とふたりして花粉症がひどかったけれど、それもまた、旅の思い出。

こころのサプリ作品募集 皆さんの日常の「ちょっといい話」「ホッコリする話」を投稿してください！

◎字数：600字程度、タイトル：12文字以内 ◎応募対象者：現在学生および教職員 ◎タイトル、氏名 (掲載の際、ペンネームを希望される方はそのペンネームも) を明記し、法人企画部経営・人事企画室 (keiei@tokyo-med.ac.jp) までメールにてご応募ください。 ◎採用された方には、後日連絡いたします。 ◎採用された方には、記念品を差し上げます。 ◎挿絵イラストを描ける方も募集しています。是非ご連絡ください！